

創薬基盤推進研究事業 研究開発課題
中間評価報告書

| | |
|----------|-----------------------------|
| 研究開発課題名 | 注射に代わる非侵襲性次世代経皮吸収送達技術に関する研究 |
| 代表機関名 | 国立大学法人九州大学 |
| 研究開発代表者名 | 後藤 雅宏 |
| 全研究開発期間 | 令和3年度 ～ 令和7年度（予定） |

1. 研究開発成果（公開用）

中間報告書（下URL）参照

<https://www.amed.go.jp/content/000120227.pdf>

2. 総合評価

- ・優れている

【評価コメント】

様々なシーズ対応において、油状ナノ分散化(S/O)技術を最適化し、核酸、抗体、ペプチド等の広範なモダリティの経皮製剤の開発を進め、注射でしか投与できなかったバイオ医薬品を経皮投与することができる経皮創薬プラットフォーム技術基盤構築が順調に進んでおり、汎用性、発展性が期待できる。また、知的財産権の確保を行い、多数の論文発表、学会発表、アウトリーチ活動がなされたことは評価できる。

課題間連携でのシーズ開発課題への対応も活かして、S/O技術による経皮投与の注射剤に代わる有益性を明確化すると共に、薬剤量の低減や汎用性拡大を目指すこと。また、経皮透過性の向上だけでなく、経皮吸収後の全身移行性や標的組織到達性についてもさらに検討を進め、S/O製剤の実用化を目指すこと。

以上